



山をも動かすことのできる全能の神の御子、イエス・キリスト。あなたはそのイエスへの信仰心を持っていますか？ イエスはおっしゃいました。「もしあなたがたにからし種一粒ほどの信仰があれば、この山に『ここからあそこへ移りなさい』と命じても、その通りになるであろう。あなたがたにできないことは何もない」 主イエスは完全なる服従(全託)の最も優れた手本でした。イエスはいつも父なる神を深く敬い、神のご意志を絶対的なものとして受け止めていました。至高の父なる神に対する人々の信仰心が完全に欠けているこの時代において、2013年7月8日、ある「奇跡的な」できごとがプッタパルティにて起こりました。それは神のご意志が至高のものとして君臨することを「認めざるをえない」、全託の大いなる力を示すできごとでした。この記事の著者であるジテン・タッカー氏は、イギリスを拠点に活躍しているとても熟達したマスコミ関連の名士です。彼は音響工学に関する特殊な専門的技術を有し、しばらく前まではBBC(英国放送協会)において輝かしい成功をおさめ、今は至高の父なる神ご自身によって任命された、「グローバル ガーヤトリーマントラ プログラム」の普及に従事しています。

イエスのように祈りなさい

サイ ババが私に再びプラシーヤンティ ニラヤムを訪れるよう促した夢に従って、両親と私はプッタパルティに到着し、すぐに自分たちの部屋に向かいました。ある親切な男性が私の荷物を部屋に運び入れるのを手伝ってくれ、その後、立ち去りました。

その部屋はシンプルかつきれいで、完璧であると感じました。しかしながら、私は自分のスーツケースが置かれた場所が気に入らなかったもので、移動する必要がありました。そこには、私に大きな喜びを与えてくれる、小さな美しい黒い甲虫型の昆虫がゆっくりと歩

き回っていて、服を出し入れするときにスーツケースがその昆虫を傷つけないか心配になったからです。

当然ながら、私はスーツケースを動かしに行きました。しかし、そうして私がひざを床につけたとき、ひざの下に何かを感じました…

運悪く、私はその美しい昆虫の上にひざをついてしまい、その昆虫は私の体重でひどく傷つけられてしまいました。その聖なる子ども（昆虫）は動こうともがき、血が流れ出していました。私のハートはかき乱されました！ どうしてこのようなことが起こったのでしょうか？ この美しい昆虫の命がとても小さく脆いものだったので、私は注意深くあろうとしていたし、絶えずババに意識を向けていたのです。にもかかわらず、この愛しき昆虫は、私自身の体によってひどく傷つけられてしまいました。こうして、私がこの生き物に対して傷つき、悲しく感じている間に、その昆虫は生きながらえようともがくのを止めて、足の動きが止まり、死んでしまいました…

私のハートは、この昆虫の命と同じくらい急速に打ちひしがれていきました。私の即座の反応は、私たちの聖なる父、サティヤ サイ ババへの感情的な祈りでした。

「父よ！ なぜあなたは私をここに連れて来られたのですか、なぜあなたの聖なる御前で、あなたとあなたの帰依者たちの愛が周りを取り巻いているときに、こういった生命を奪うような劇的な出来事が起こったのでしょうか？ 父よ！ この聖なる子ども（昆虫）が感じなければならなかった痛みのことを思うと、私は胸が張り裂けそうです！ 父よ、お願いします、あなたのご意志で何とかしてください」

すると、私が祈り終えるやいなや、その昆虫から流れ出た血がまた昆虫の体内に戻っていきました！ それはまるで、ビデオの逆再生を見ているかのようでした！ 床には一滴の血も残っていませんでした！ その間、半分つぶれてグチャグチャになっていたその昆虫の体は、まるでぺちゃんこのタイヤが完全な形に膨んでいくかのように、元の姿に戻っていきました！ 15秒あまりの間に、その昆虫は健康な体に戻り、まったくき栄光のうちに走り回っていたのです！！

バガヴァン シュリ サティヤ サイ ババを讃えましょう！ その純粋な愛を！ すべては一つです！「私の息子よ！ すべてのもに対して平等に接しなさい」と、父（なる神）が息子（イエス）に言われたように。

この奇跡を見たことで、すぐに私の悲しみは消え去り、代わりに喜びがハートの内を満たしました。私はサイ ババが「私はあなた方の悲しみの涙を取り除き、喜びの涙に置き換えます」と言われたのを覚えています。父よ！ 実際に、あなたはそうなされたのです。

次の朝、私がベッドから出ると、その昆虫は私の後をついてきました。どの方向へいっても私の後をついてきました。私が座ったり立ち止まったりすると、その昆虫も小さな円を描くようにして這い歩き、立ち止まって私の方をじっと見つめるのです。私は尋ねました。「友よ、何がほしいのだね？」すると強い直感と共に、その昆虫はきっとババのダルシャン（謁見）がほしいに違いないと思いました。（私は手にサイ ババの写真を持ち歩き、それを見ていたので。）そこで、私はその昆虫にサイ ババの写真を見せました。手を止めて5秒ほど見せたところで、その昆虫はくると向きを変え、喜びの興奮をほとばしらせながら、全力疾走で飛び去っていきました！

神はすべての生きもののために存在しています！！！！

「愛を持たない人間は誰もいません。獣や鳥、動物や昆虫でさえも愛を持っています。この愛は、最も小さな生きものにおいてさえ経験されるものです。私たちは、神がすべての存在の中に『アトマ意識』として存在するという深い確信を持つべきです」

— シュリ サティヤ サイ ババ

出典：<http://www.theprasanthereporter.org/2013/08/pray-like-jesus/>